

報道記者各位

2020年10月1日

テス・エンジニアリング株式会社

2020年10月より「茨城牛久メガソーラー発電所」の発電事業開始

テス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：高崎 敏宏、以下「当社」といいます）は、当社の連結子会社である合同会社茨城牛久ソーラーパワーを営業者とする匿名組合において、2019年1月から建設を行ってまいりました太陽光発電所「茨城牛久メガソーラー発電所」（茨城県牛久市・発電容量約29.4MW）が、2020年10月1日（木）より発電事業を開始したことをお知らせいたします。



（茨城牛久メガソーラー発電所）

■茨城牛久メガソーラー発電所について

本発電所は、発電容量約29.4MW、太陽光パネル96,384枚を使用しております。年間発電量は約3,268万kWh（初年度）となる見込みで、一般家庭約10,990世帯分（※1）が消費する電力に相当し、年間約15,948tの二酸化炭素排出削減（※2）に貢献します。なお、発電した電気は、全量を東京電力エナジーパートナー株式会社へ売電します。

■今後の展望

現在、日本政府は2018年に策定された第5次エネルギー基本計画に基づいて、2030年までに国内電源構

成に占める再生可能エネルギーの割合を2017年度の約16%から24%程度にする目標を立てています。当社グループは、本発電所の稼働をもって全国に54カ所、合計約188.7MW（※3）の太陽光発電所を開設しており、今後も再生可能エネルギー発電事業を通して、持続可能な社会形成や気候変動問題の解決に貢献してまいります。

■茨城牛久メガソーラー発電所の概要

発電所名	茨城牛久メガソーラー発電所
発電事業主	合同会社茨城牛久ソーラーパワー
所在地	茨城県牛久市
システム内容	太陽光発電システム モジュール種別：単結晶 発電容量：約29.4MW（京セラ製 305W×96,384枚）
敷地面積	約38万㎡（東京ドーム約8個分（※4））
年間予想発電量（初年度）	約3,268万kWh
売電先	東京電力エナジーパートナー株式会社
工事期間	2019年1月～2020年9月
事業開始日	2020年10月1日
EPC（設計・調達・施工） O&M（運用・保守）	テス・エンジニアリング株式会社

（※1）1世帯当たりの消費電力2,973.6kWh/年で算出

出典：一般社団法人日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

（※2）電気事業者別排出係数代替値0.000488t-CO₂/kWhで算出

参考：環境省ホームページ「電気事業者別排出係数一覧（令和2年提出用）」

https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r02_coefficient.pdf

（※3）稼働済みの太陽光発電所として（2020年10月1日時点）

（※4）東京ドームの建築面積46,755㎡で算出

参考：東京ドームシティホームページ <https://www.tokyo-dome.co.jp/faq/dome/>

■本件に関するお問い合わせ先

テスホールディングス株式会社 管理本部 経営企画ユニット 広報・IRチーム

<https://www.tess-hd.co.jp/contact/>

※お電話での対応ができない場合がございますので、ホームページよりお問い合わせください。